

## 前回策定部会意見を踏まえた対応状況について

前回策定部会意見	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>市の特徴から農業分野（メタン、一酸化二窒素）の排出量を算定した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「水田からのメタン排出」「施肥による一酸化二窒素排出」について排出量を算定し、計画に反映しました（素案 p. 8, 12, 17）。</li> <li>排出量等の詳細は資料4に整理しています</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜCO<sub>2</sub>排出量が減っているかわかるようにデータを示した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門別の削減状況、エネルギー（熱量）、電気使用量の状況を示し、削減状況を示しました（素案 p. 13）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成に向けた取組については、各取組の効果や実施主体を紐づけた方がわかりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容について、「施策体系」を記載しました（素案 p. 20）。</li> <li>重点的な取組・取組内容について、対策区分（緩和策・適応策）と取組主体を紐づけて整理しました（素案 p. 22-26）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>指標と削減努力が繋がるよう、KPIを作成した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>KPIは、並走する上位計画・関連計画との共有や、既存の調査・統計データで把握可能なものを設定しました（素案 p. 22-26）</li> </ul> <p>※KPIの詳細は資料6に整理しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「STEP4」など、市の削減努力がわかる形に取りまとめた方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素施策については、国・県の計画で概ね網羅されていることから、このうち、特に地方自治体（丹波篠山市）での推進が必要な取組を施策体系（素案 p. 20）、重点的な取組（素案 p. 22-26）としてとりまとめました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林蓄積の出典について確認すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ出典は、森林・林業統計要覧（林野庁）です。</li> <li>森林蓄積の統計値は森林簿からの集計値との事です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新築建築物のソーラーパネル設置率をKPIに設定することが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当部署に確認したところ、ソーラーパネルは建築確認申請の項目等になっていないため、市の方で設置率等を把握するのは難しい状況です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>表4.2-1で単位を統一した方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表や単位の統一など、調整しました。</li> </ul>